

# さあ エベレストを目指そう

分社グループ会報  
第55号

# 分社

Bunsha

2018年(平成30年)  
4月27日 金曜日発行

《発行元》  
分社理念研究所 事務局  
〒141-0031  
東京都品川区西五反田8丁目  
11番21号五反田TRビル3階  
TEL 03-5496-1810  
FAX 03-5496-1881  
<http://www.bunshagroup.com/>



酒井代表

桜の花と共に新年度が始まりました。草木・虫魚をはじめ、人間の動きも活発になり、生気みなぎる時期を迎えました。毎年の事ことではありますが、この時期は日本全体が生き生きしているように感じます。自然の巡りは季節ごとにその節理が決まっていますが、会社というのはいかようにもなります。そもそも新しいという事は白紙と同じで、何もないのですから下手な絵も上手い字でも何でも描けるわけです。

スタートに当たりどんな事業計画を描くのか！各社各様であつても事業体はその事業計画を確実に達成することが求められ、それが次の時代にも発展継続する一歩となる大切なものです。

「一歩」と言えば、富士山に登る一歩、高尾山に上る一歩、同じ一歩でも覚悟が違う、どこまで登るつもりか、目標がその日その日を支配する。という後藤静香の詩がありました。

目標は高いほうが良いのですが、一年で達成できなければ3年、5年といった中期目標を立てて挑戦しなければなりません。

4年ごとのオリンピックに挑戦する人たちの弛まぬ努力の姿をついこのあいだ、私たちは見せて



もらいました。それは驚きの連続でした。そうした努力が報いられたときの喜びはどんなものなのでしょう？

事業目標の達成はオリンピックのように飛びぬけた一人の頂点とは違い、じわりじわりと高原状に会社全体に影響を与えるものです。

そして大きな目標の達成へと繋がっていくものと思っています。

どうせなら 新年度はエベレストを目指そう！

## 分社グループ 社長会開催



平成30年3月15日(木)コートヤード・マリOTT銀座東武ホテルにおいて社長会が開催されました。

開催に際し篠崎会長は「決算を間近に控え、各社忙しい時期だと思えますがグループ全体で目標を達成できるように頑張ってください」と挨拶を述べられました。次いで事務局より月次業績推移の報告と改正労働契約法への対応が再通知され、3



月5日(月)に開催された「経理・税務・金融部会」について座長の菅正彦社長より開催報告がなされました。

報告、連絡事項等が終了した後、株式会社OMEGA HIGH代表取締役栗原啓悟氏をお迎えし「これからの人材育成と働き方改革」をテーマに勉強会を開催されました。

勉強会終了後酒井代表より挨拶があり社長会は終了しました。

## 大陽工業株式会社



代表取締役  
酒井陽太

### 平成29年度の成果（総括）

- 好調な受注に支えられ売上高は前年比増収となったが、収益の伸び率が低く収益力の強化が当社の課題。人員採用は、実習研修生（中国人女性）を6名確保し対応。
- 長年の懸案であった福島県伊達市の土地（13,500坪）、建物の完全売却を完結。

### 新年度の事業方針

AI、IOTにより事業環境が急激に変化しているなか、既往の事業継続に拘ることなく、新技術の開発、新設備の導入、人材の育成に注力し、時代の変化を見極めた事業態勢を積極的に構築していく。

### 重点施策

- ・収益力増強のためのアクションプランの策定と実行
- ・基板の米国市場開拓注力（現地レップの見直し、出張の頻度を上げ見込み顧客との直接面談による売込み）
- ・請負受注生産主体から開発パートナーとして参画し事業の付加価値を底上げする態勢の構築。また自社開発製品（NaCoo, MIKAZE）のマーケティングの本格化

## 株式会社大昌電子



代表取締役  
篠崎尚利

### 平成29年度の成果（総括）

- 高付加価値製品の受注が順調に推移した
- 海外顧客への売上が37%に増加した
- 歩留りを高めたことにより、経常利益5億円の確保につながった
- 計画通りの借入金の圧縮ができた

### 新年度の事業方針

創立50周年に当たり、新たな出発に向け、一層先端技術と超品質の物作りを推進し、世界に貢献し続ける会社を目指す。

### 重点施策

- ・適切な受注の安定確保。IT から車載 IoT、AI 関連にシフト
- ・歩留りを高め、営業利益10%につなげる
- ・安全第一、法令遵守と環境保全で、事故のない快適な職場を確立

## 平成30年度 事業方針発表

新年度がスタートして一ヶ月余がたちました。新しい目標や課題に向かって邁進している各社より、前年度（平成29年度）の成果（総括）と今年度の事業方針を発表して頂きました。

### <グループ従業員数> (平成30年3月現在)

	正社員	契約・嘱託	パート・派遣	合計
男性	1,487	131	60	1,678
女性	437	170	186	793
合計	1,924	301	246	2,471

### <新入社員数>

男性	女性	合計
45	11	56

## インテグラン株式会社



代表取締役  
関山浩一

### 平成29年度の成果（総括）

平成29年度は売上、経常利益ともに計画を守ることができる見込みである。防衛装備品に関してはFMS（対外有償軍事援助）の金額が依然として高額で推移しており、国内における修理や新規装備品の案件は減少している状態が続いている。

昨年度より減少を見越し取り組んでいた社会インフラ向け高難易度製品の量産や新規取引先の開拓による効果が生じてきたことにより計画達成の見込みとなった。

### 新年度の事業方針

2022年度までに

- 電源グループ：売上高20億円を目指す。
- 装置グループ：売上高8億円を目指す。
- 基板グループ：基板設計で2億円の売上、関連周辺業務の売上増を目指す。

### 重点施策

- ・電源グループ：既存お客様への売上高15億に加え、新規お客様への売上高を2億円にする。
- ・装置グループ：判断・実行のスピードアップ
- ・基板グループ：超高速信号のシミュレーションと設計の習得

## 富士精密株式会社



### 平成29年度の成果（総括）

売上高 2,407百万円（計画比 100.3% / 前年比 105.1%）※注 見込

経常利益 95百万円（計画比 105.4% / 前年比 115.5%）※注 見込

代表取締役  
山田敏明

平成29年度は下半期から受注が好調に推移し、上半期の低迷を補って増収増益となりました。

### 新年度の事業方針

【Innovation 2020】（技術革新）

刻々と変化してゆく経済状況の中、即実行、即実践を合言葉に改革を行う。

次の世代に技術、人財、設備の価値を高め継承してゆく。

### 重点施策

- ・信頼される企業へ（顧客の深堀と拡大／新市場への参入）
- ・生産効率の向上（生産手法の変革／原価意識の徹底／人財育成の強化、継承）
- ・創造力の養成（提案力の強化／高付加価値の追求）

## セブンヒルズ株式会社



### 平成29年度の成果（総括）

事業再構築3年計画の1年目が終了しました。1年目の進捗は計画通りに進んでおります。通期では大きな赤字となりますが、半期ごとの結果では、上期に対し下期は大幅な赤字の削減ができました。

代表取締役  
松田 浩

新事業の立ち上げには時間がかかっておりますが、様々な分野に積極的にチャレンジしております。まだ成果は小さく、道半ばですが、新年度に向けて方向性は見えてきました。

### 新年度の事業方針

事業再構築3年計画の2年目になります。計画を着実に進めて参ります。商品販売部門へ人員を配置し、拡充して行きます。積極的な営業展開と新商材の開拓により売上増と利益率の改善を行います。

資源リサイクル部門の赤字体質を改善し、黒字化に向けてビジネスモデルを再構築します。

新事業の立ち上げについては、引き続き積極的にチャレンジして行きます。

保有資産の売却等を進め、借入金の縮小に充てて行きます。

### 重点施策

- ・商品販売部門の拡充
- ・新事業の立ち上げ
- ・借入金の縮小

## 大金電子工業株式会社



### 平成29年度の成果（総括）

金融は、受注が低迷し予算が先送りになるなど、計画に対し36%落ち込んだ。設備は、特に半導体設備関係が好調で、17%増加した。社会インフラは、一時低迷した受注が回復し、15%増加した。情報は、横ばいとなった。医療は、伸び悩んでいた海外向けで新機種も加わり、200%増加した。

代表取締役  
本間 修

全体としては、半導体設備関連のシェアが大きく伸びて前期から受注増となった。

### 新年度の事業方針

経営方針：顧客満足の向上

（CUSTOMER SATISFACTION）

重要方針：外的要因に大きく影響を受けない事業構造の構築

経営環境の変化に耐えうる企業体質の構築  
持続性を高める企業（事業）運営の構築

### 重点施策

- ・高品質の追求
- ・営業戦略の深化
- ・付加価値の拡大

## 丸忠デジタル株式会社



### 平成29年度の成果（総括）

●前期後半より今期にかけて第2部門のPSI用金型の落ち込みが予想以上に大きく、新規顧客獲得も遅れてしまったが、今期後半から来期前半にかけて第2部門の新規受注の目処が立った。

●新たに始めた部品加工の受注は、順調に確保できた。

代表取締役  
大川博幸

### 新年度の事業方針

■全社一丸となって挑戦

プリント基板用金型の減少を埋めるべく、新しい「ものづくり」に全社一丸となって取り組む。

■財務強化

利益の出る企業体制作りの徹底

### 重点施策

- ・更なる固定費削減を実行し、利益の出る企業体制の構築
- ・利益率の高いPSI用金型及び超硬金型の新規顧客確保
- ・「ネットワーク」を活かして、加工品の安定受注を目指す

## 株式会社マグトロニクス



代表取締役  
菅 正彦

### 平成29年度の成果（総括）

工作機械、半導体製造装置、ロボットなど当社の主要市場が大きく成長し大幅な受注増となりました。

急激な受注増加に対しても従業員の皆さんが積極果敢に生産に取り組んで頂き、前年比117%の増収を達成することができました。

### 新年度の事業方針

#### 【 INNOVATION 2018 】

当社のノウハウ・技術・情熱と最先端システムを高次元で融合させ、他社の追随を許さない新たな高付加価値サービスを創造し、お客様へ感動と共に提供することにより、強固なパートナーシップを構築する。当社は市場を突き動かす革新を行い、最先端を走るオンリーワン企業を目指す。

### 重点施策

- ・ビジネス拡大
- ・業務革新
- ・企業レベルの向上

## 株式会社幸大ハイテック



代表取締役  
藤野宏行

### 平成29年度の成果（総括）

売上は前期比10%増の15.2億となった。特に下期は新規案件の上積みと利益改善活動が有効に機能したことで業況が好転したが、上期損失が大きく響き損失を挽回することは出来なかった。重点施策として掲げた「全社員の意識改革」については、原価／品質／納期に対する考え方が全社員の行動に

表れ始め、翌期の黒字化に向けた収益構造／企業風土変革の糸口をつかめたことが当期の大きな成果となった。

### 新年度の事業方針

Vision2023（中期経営計画）

「収益構造の変革」、「企業風土の変革」、「原点に戻る」をスローガンに挑戦し続けます。

### 重点施策

- ・医療機器と産業機器で2本の柱を築く
- ・原価管理の徹底
- ・人材育成

## 株式会社サテリット



代表取締役  
矢澤克弘

### 平成29年度の成果（総括）

営業面では年間の売上目標を達成できそうではあるが、年々試作品でも価格競争が激化しており、安定した受注を確保し、利益を計上していくためには、より付加価値の高い製品の受注を増やしていく必要がある。

### 新年度の事業方針

人員の増強等による営業部門の強化を行い、より付加価値の高い製品の受注量を確保していき利益の確保をめざす。

### 重点施策

- ・新規得意先の開拓
- ・技術レベルの向上
- ・人材の採用、育成

## 株式会社ダイチューテクノロジーズ



代表取締役  
佐々木義弘

### 平成29年度の成果（総括）

SSD TESTERの開発及び製造は、海外顧客に対して積極的にアプローチした結果、既存顧客からの受注に加え、ソフト会社とのコラボレーションにより、新規顧客からの受注も獲得できた。

社会インフラ系製品は、年間を通じて受注したリピート製品、開発から量産に至るまでの製品などが売上げに結びついた。次年度に向けて、開発と生産準備を着々と行っている。

### 新年度の事業方針

- 全部門一丸となってシナジー（相乗効果）を構築する
- $V(\text{価値}) = F(\text{機能}) \div C(\text{価格})$  を常に考慮し、活動する
- スピードと闘争心

### 重点施策

- ・付加価値に寄与するコア技術を開発する。
- ・開発との融合による徹底したコスト削減を行う。
- ・製造力の強化を推進する。

## 株式会社コダビット



代表取締役  
藤野 宏行

### 平成29年度の成果（総括）

平成29年度は、求人倍率の高まりもあり、派遣事業は追い風となり、事務系派遣先の開拓を試みましたが、求人難の逆風も相まって追加採用に至りませんでした。下期より請負から派遣へ人材の転換による既存派遣先への追加派遣、請負事業の作業改善の取り組みを行い、利益は改善傾向となりましたが、落ち込みの補填まで届かず、売上、利益共に計画を達成することができませんでした。

### 新年度の事業方針

Vision2021（新・中期経営計画）

「収益構造の変革」、「企業風土の変革」、「原点に戻る」をスローガンに挑戦し続けます。

### 重点施策

- ・請負事業の拡大
- ・品質向上
- ・人材育成

## 株式会社トライターム



代表取締役  
菅 正彦

### 平成29年度の成果（総括）

主要顧客からの受注拡大と新事業への取り組みが実り、通期での黒字化を達成することができました。また組織・体制の強化、工場環境の改善などの企業レベルの向上にも注力し今後の成長への基盤の構築ができました。

### 新年度の事業方針

【 TRY2020 triterm version3.0 】

自律性による持続的成長基盤の構築

### 重点施策

- ・既存顧客案件の継続と維持拡大
- ・新事業の構築
- ・医療機器事業の立ち上げ

## 株式会社ニューシステムズテクノロジー



代表取締役  
熊谷 修

### 平成29年度の成果（総括）

- 電力、防災、鉄道、医療などの制御系システム開発は前期から継続して堅調に推移しました。
- 設備、試験、監視などの計測システム開発は、上期は伸び悩んだものの下期には受注が増加しました。
- SEサービス・ビジネスは協業企業との連携強化に注力して、一定の成果を上げることができました。

### 新年度の事業方針

「事業構造改革の推進」(第2期・中期経営計画)

### 重点施策

- ・得意とする計測・制御系システム開発でのニッチな市場の開拓
- ・事業構造改革として展開するSEサービス・ビジネスの基盤確立
- ・生産性向上を図るために働きやすい環境の整備、人材育成

## 日本フライトセーフティ株式会社



代表取締役  
山田 元昭

### 平成29年度の成果（総括）

- 操縦訓練は一時のブームより問合せが減少したが、後半徐々に盛り返している。
- 遊覧飛行は夏の長雨の影響により減少、付加価値の高いサービス増強に努める。
- 航空写真はドローンの影響により減少したものが、都心部の撮影ではドローンが不向きな為、後半戻ってきている。既存顧客に加え、新規顧客の獲得も。

### 新年度の事業方針

- 航空業界に優秀な操縦士を送り込むことにより、航空業界の発展を基礎から支える。
- 創業30周年にふさわしい確固たる地位を業界で築く。

### 重点施策

- ・操縦訓練：加齢操縦士の大量退職問題に対処できる優秀な操縦士を育成、業界に供給する
- ・遊覧飛行：飛ぶことに加え、プロポーズや誕生日などのお祝いごとにもふさわしいプランに注力
- ・29年間続いている無事故記録を更新するとともに、次世代操縦士整備士の育成に努める

## 経理・税務・金融部会開催



平成30年3月5日（月）TKP品川カンファレンスセンターにおいて「経理・税務・金融部会」が開催されました。テーマは「税制改正」と「税務調査で指摘されやすい重要事項」についてグループ顧問の野村聡先生（公認会計士）をお迎えし解説して頂きました。

税制改正については、今年から適用が開始されている配偶者控除及び配偶者特別控除の取り扱いを中心に、個人所得税（所得控除・基礎控除等）の見直しや法人税（固定資産税・少額減価償却資産等）にかかる特例についても触れられ、変更点や留意点を確認しながら解説して頂きました。

また、税務調査で指摘されやすい重要事項については、調査のしぐみを理解するとともに準備や対応の仕方を説明して頂き、実際の調査事例を参考にしながら詳しく解説して頂きました。

## 展示会出展

### スマート工場 EXPO

(株)マグトロニクス

(株)ライターム

富士精密(株)



平成30年1月17日（水）～19日（金）東京ビッグサイトで開催された第2回スマート工場EXPOに(株)マグトロニクス・(株)ライターム・富士精密(株)の3社が出展しました。



### EV・HEV 駆動システム技術展 (EV JAPAN)

大陽工業(株)

大陽工業(株)が1月17日（水）～19日（金）東京ビッグサイトで開催された第9回EV・HEV駆動システム技術展に出展致しました。



### ロボ デックス ロボット開発・活用展

(株)大昌電子

(株)大昌電子が1月17日（水）～19日（金）東京ビッグサイトで開催された第2回ロボット開発・活用展に出展致しました。

